

皆様へ

第102期中間(第2四半期)報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<https://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間は、定時株主総会の対応に関して一過性の費用支出があったものの、ほぼ計画通りの業績水準で推移することができました。

当社グループは2024年6月に発足した新経営体制のもと、2027年3月期に至る3ヵ年の中期経営計画「革新と進化」の実行実現に取り組んでおります。事業環境は依然として先行き不透明な状況を否認ませんが、引き続きグループ一丸となって「革新と進化」を実現することで業績の改善を推し進め、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員 兼 COO 成瀬 功一郎

当期の経営成績概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向が見られました。一方で、中国経済の先行き懸念、不安定な国際情勢に伴う資源価格の高騰などにより依然として先行き不透明な市況が続いております。衣料品市場におきましては、コロナ禍からの市場環境回復による反動需要は一巡したものの、引き続き旺盛なインバウンド需要に支えられ、おおむね堅調な推移となっております。

衣料事業においては、小売部門の主力ブランドのひとつである「ブルックス ブラザーズ」の各種商品政策の実施やインバウンド需要の取り込み等によって売上高を大きく伸ばした一方で、イタリアの製造部門においてEU圏を中心とした取引先の在庫調整が長期化していることや、中国経済の停滞により中国国内の小売部門の売上高が減少したことなどにより前年同期比で減収減益となりました。

不動産賃貸事業においては、前連結会計年度に賃貸用不動産の組み替えが完了したことや、2024年4月に小田原の商業施設「ダイナシティ」の新館がオープンしたことで集客力が向上し来館客数が増加したことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

また、各報告セグメントに配分していない全社費用において、定時株主総会対応に関連する費用が前年同期比で大幅に増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は13,718百万円(前年同期比1.9%減)、営業損失は456百万円(前年同期は営業損失370百万円)、経常損失は483百万円(前年同期は経常損失224百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は202百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失390百万円)となりました。

中期経営計画への取り組み状況

現在、中期経営計画のもと、業績の回復に向けて各事業の経営課題解決を進めており、2026年3月期以降順次効果を創出する予定です。

衣料事業の国内小売部門「ニューヨーカー」ではサプライチェーンの高度化や在庫の効率化、「ブルックス ブラザーズ」ではCRM(カスタマーリレーションシップマネジメント)への取り組み強化や不採算店舗の損益改善をそれぞれ主な施策として取り組んでおります。イタリアの製造部門「ポンテルト」は、経営機能の

強化と合わせて営業機能やマーケティング機能の強化を図り、売上・利益ともに増加・改善を目指しております。また、中国の小売部門は、中国経済の先行き懸念によって消費者の購買意欲が著しく低下しているため、当該部門を「非戦略事業」として位置づけ当期中に抜本的な対策により止血を実現いたします。

不動産賃貸事業では、コーポレトリアルエステート部門の保有資産の組み替えやショッピングセンター部門の新館オープンにより安定的な利益が発生しており、今後も現在進めている収益向上施策により更なる効率改善が実現する見込みとなっております。

中期経営計画の重要施策として掲げたM&Aにおいては、具体的なターゲット企業／事業を絞り込み、実行実現に向けて推進しております。主に、①M&A対象企業／事業の「市場・事業の成長性」、②当社既存事業／機能との「戦略・資源的な適合性と親和性」、③「取得価格水準」の妥当性、④M&Aすることによる当社連結業績への「財務インパクト」、の4つの視点によりターゲット企業／事業を絞り込んでおります。また、「市場浸透(既存市場×既存製品)」「製品開発(既存市場×新商品)」「市場開拓(新市場×既存製品)」の軸によりM&A対象企業／事業及び新規事業の方向性や優先順位を検討することによってM&Aの成功確率を高め、創出効果の最大化を図ってまいります。

<株主還元強化について>

2024年7月4日に開示いたしました「株主還元に関する方針及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」のとおり、株主還元強化を図ることがさらなる株主価値の向上に資すると判断し、中期経営計画期間中の株主還元に関する方針を当社取締役会の総意として決議しております。

- ① 2025年3月期から2027年3月期までの3年間においては、1株あたり年間100円の配当実施を基本方針とします。
- ② 株式市場からの最大50億円程度の自己株式を取得する方針とします。但し、自己株式の取得につきましては、当社株式価格の推移、財務状況などを勘案した上で、機動的に実施したいと考えております。詳細が確定し次第、速やかに開示いたします。

<減資について>

今後の資本政策の機動性を確保することを目的として、2024年12月17日に臨時株主総会を招集し、資本金と資本準備金及び利益準備金の額の減少を付議しております。

Topics
1

ニューヨーカーのリユース事業「NY. CYCLE STORE」がスタート

NEW YORKER



ニューヨーカーでは、ブランド60周年を機に新しくリユース事業を立ち上げ、公式リユース販売オンラインサイト「NY. CYCLE STORE(エヌワイドット サイクルストア)」を2024年10月にオープンいたしました。

「NY. CYCLE STORE」では、店舗での古着回収活動「NYリサイクル」及び社員向け下取りプログラムを通じて集められた自社商品の中から、一点一点状態を確認した上で厳選し、クリーニングなどのメンテナンス後、一点ものの貴重な商品として販売いたします。

アーカイブ製品を通して過去と今をつなぎ、ブランドメッセージ『Timeless Wardrobe 人生を共にする一着を。』に込められた、より多くのお客様に大切な一着として末永く愛用できる服に出会っていただきたいという想いととも、ニューヨーカーのサステナブル活動の一環として、自然環境への配慮と循環型社会の実現に貢献してまいります。



NY. CYCLE



NY. CYCLE STORE(エヌワイドット・サイクルストア)の詳細については以下をご参照ください

<https://nycycle.ny-onlinestore.com/>



ニューヨーカーのサステナブル活動の詳細については以下をご参照ください

https://www.ny-onlinestore.com/shop/pages/nycycle_list.aspx?from=nyo_top_mini

Topics
2

ブルックス ブラザーズ「JAPAN TRAD.」コレクションが好評

ブルックス ブラザーズ ジャパンでは、アメリカン・トラディショナルに深い造詣をもつ日本人クリエイターと共同製作する、新しいカプセルコレクション「JAPAN TRAD.」を今秋より発売いたしました。

デビューを飾る2024年秋冬には、メンズドレスファッションを代表するBEAMS Fのディレクター、西口修平氏をエディターに迎え、厳選された素材、信頼ある日本の縫製技術、そして同氏の感性を取り入れたオーセンティックかつモダンなアイテムで、本物を愛する大人のためのラインナップとなっています。発売開始より大変好評で、従来の顧客のみならず、新規客の獲得につながっています。ブルックス ブラザーズ ジャパンでは、今後も引き続き様々な取り組みを推し進めてまいります。



Brooks Brothers



「JAPAN TRAD.」の詳細については以下をご参照ください

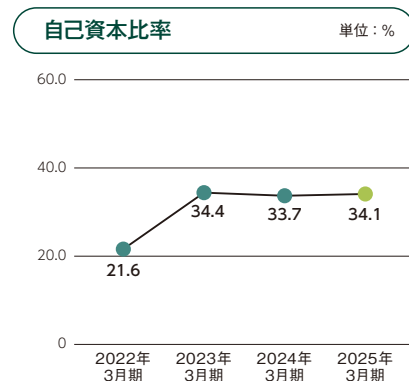
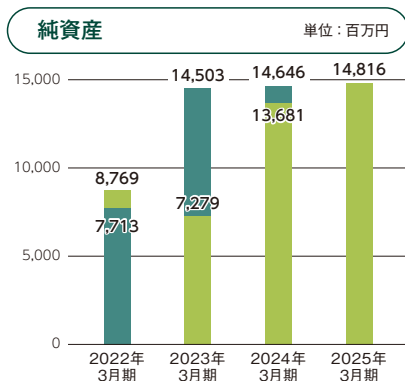
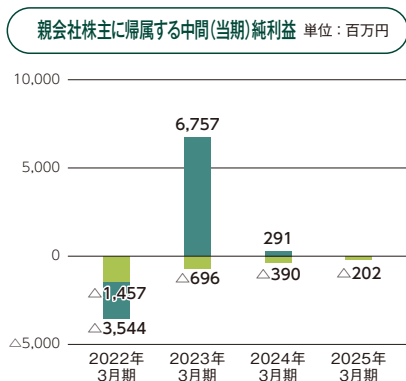
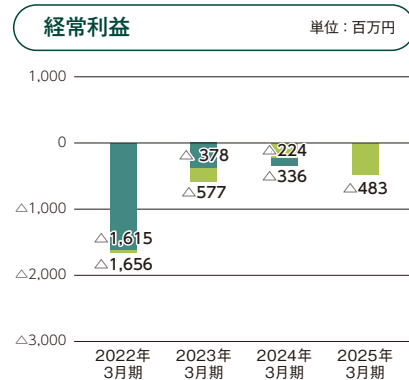
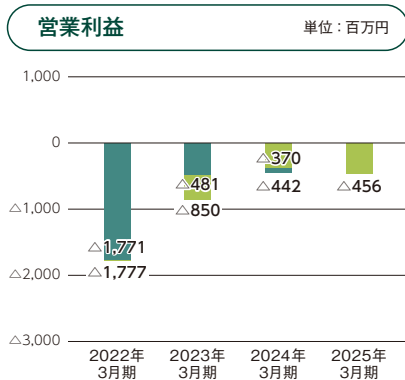
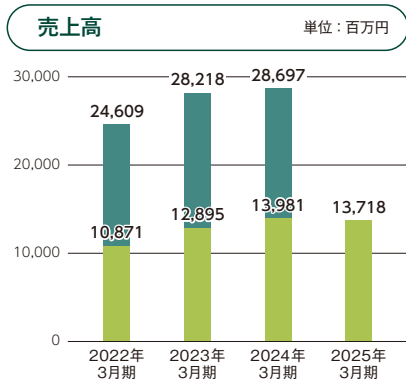
<https://www.brooksbrothers.co.jp/page/?id=japantrad>

業績・財務ハイライト

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高	12,895	28,218	13,981	28,697	13,718
営業利益	△ 850	△ 481	△ 370	△ 442	△ 456
経常利益	△ 577	△ 378	△ 224	△ 336	△ 483
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	△ 696	6,757	△ 390	291	△ 202
純資産	7,279	14,503	13,681	14,646	14,816
自己資本比率(%)	20.1	34.4	34.3	33.7	34.1

■ 通期 ■ 中間期



株式関連情報 (2024年9月30日現在)

株式の状況

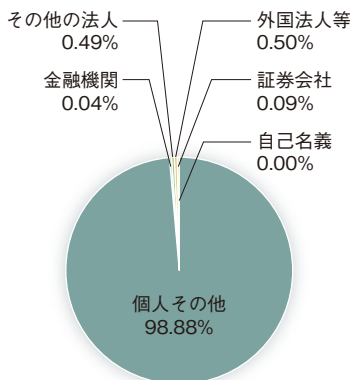
- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数(自己株式を含む) 30,696,897株
- 株主数 30,584名 (前期末 17,941名)

大株主

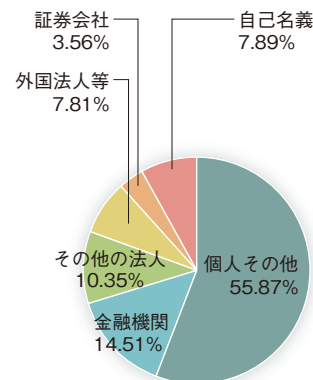
株主名	所有株式数(百株)
株式会社ソー	15,950
三井住友海上火災保険株式会社	6,464
三井住友信託銀行株式会社	6,420
株式会社みずほ銀行	6,283
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	5,926
高橋 新	5,588
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,369
水出 洋	5,110

(注) 当社所有の自己株式(3,539,500株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



会社情報 (2024年9月30日現在)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役会長 兼 CEO	山田 政弘
代表取締役社長執行役員 兼 COO	成瀬 功一郎
取締役上席執行役員	白子田 圭一
取締役執行役員	今井 和俊
社外取締役	久保木 大世
社外取締役	大澤 道雄
社外取締役	村田 正樹
監査役(常勤)	戸澤 かない
社外監査役(弁護士)	武田 昌邦
社外監査役	城戸 真亜子

主要な事業所

本社 東京都千代田区
外神田三丁目1番16号

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド	32名
企業集団の合計	621名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほ銀行	5,938百万円
三井住友信託銀行株式会社	3,200百万円
株式会社三井住友銀行	1,950百万円
株式会社横浜銀行	400百万円

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告方法 当社ホームページに掲載する
<https://www.daidoh-limited.com/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う
上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
名古屋証券取引所プレミア市場

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室
〒101-8619
東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5022 FAX.03-3257-5051

NEWYORKER



SIPULI
along with natural beautiness

